



日本の文化を体験するリジャイナの子どもたち。



リ ホームステイ団来藤 8/上
ジャイナとの交流

8月2日から11日までカナダリジャイナ市からホームステイ団が来藤。3日に新井市長と田中教育長を表敬訪問。滞在期間中は、高山社跡を見学したり、藍染めや習字、着付け、折り紙など日本文化を体験。東中学校ではうどん作りに挑戦。生地を足で踏み、のし棒で伸ばして包丁で切るまでの作業を両市の子どもたちが協力して行いました。自分たちで作ったうどんを食べて「おいしい」と満足そうでした。また、群馬医療福祉大学の学生との交流会にも参加し、充実した10日間でした。

待ちに待った海水浴。子どもたちは大はしゃぎ。



新 久寛荘での臨海学校 7/下
潟の海を満喫

昭和58年から始まった臨海学校。今年も7月下旬から8月上旬にかけて、市内小学5年生が新潟県柏崎市の石地海岸にある久寛荘で2泊3日の臨海学校を行いました。滞在中は、海水浴や各小学校との交流会、磯遊び、スイカ割りなどのプログラムの他、食事の準備や掃除活動なども行いました。参加した子どもたちは「ごはんがおいしい。海水浴も楽しい。他校の児童とも交流ができて良かった。もっと長くいたい」と笑顔で話し、子どもたちにとって夏の楽しい思い出となりました。

図書館内を探検しながら、クイズの答えを探す参加者。



図 目指せ！ミッションクリア 7/30
書館おもしろ探検隊

本や図書館をもっと身近に感じてもらうと「図書館おもしろ探検隊」が開催されました。参加者らは地図を片手に指令された本を探したり、図書館にまつわるクイズにチャレンジしたりして5つのミッションクリアを目指し、休日の図書館内を探検しました。



緊張していた子どもたちもすぐに仲良くなりました。

異 貴重な体験 7/13
国の小学生と交流

青年海外協力隊としてペルーに派遣されている隊員の橋渡しにより、日野小学校児童がペルーの小学生14人と交流会を行いました。ペルーの小学生が日本語で自己紹介とペルーの紹介をした後、ダンスやジャンケンゲームを行い、日野小の児童が先生役になり書道も体験しました。

靴や肺などの浮力によって浮くことを実感する児童ら。



水 慌てず焦らず「浮いて待て」 7/12
難事故に備えて着衣水泳

平井小学校では藤岡消防署の消防士らを講師に迎え、服を着たまま水中に落ちた場合の対応を学びました。消防士らは「川などで溺れた時、助けてと叫ぶと肺の空気が抜けて沈んでしまう。手や足を大の字に広げ、浮いて待つことが重要」と教え、児童らは浮く練習をしました。



南雲さんの軽快なしゃべりに参加者は引き込まれていきました。

食 がんの予防 7/12
生活を正して

南雲吉則さん、安田祥子さん、宮川泰夫さんの3人を講師に迎え、市民夏期大学講座(全3回)が開催されました。南雲さんの講演では「命の食事～人生を2倍楽しむ法～」と題し、がんになる原因やがんを予防する食事について語りました。